

お知らせ

平成 3 年秋季講演大会は下記により開催されることになりましたのでお知らせいたします。

- 会期** 平成 3 年 10 月 1 日 (火), 2 日 (水),
3 日 (木)
場所 広島大学
(〒730 広島市中区東千田町 1-1-89)

お知らせ

第 17 回鉄鋼工学セミナーは下記により開催されますのでお知らせいたします。詳細は「鉄と鋼」3号に掲載いたします。

- 期日** 平成 3 年
7 月 27 日 (土)~8 月 2 日 (金)
- 場所** 蔵王ハイッ
(宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉上の原 28 Tel. 0224-34-2311)
- 募集人員** 製鉄コース 25 名, 製鋼コース 45 名, 材料コース 100 名
- 申込締切日** 平成 3 年 5 月 15 日 (水)
- 問合せ先** 日本鉄鋼協会 編集・業務室
阿部, 下川 Tel. 03-3279-6021

☆☆☆☆☆

ISO 幹事国活動**1. 国際規格発行に関する進捗状況**

- (1) ISO 規格が発行されたもの: 2 件 (TR 含む)
ISO 9765 (SC19) 圧力用途用 SAW 鋼管の溶接部 L, T 方向超音波検査
ISO/TR 10281 (SC1) Mn-原子吸光法
- (2) DIS が登録されたもの: 5 件
DIS 5000 (SC12): Al-Si めっき鋼板
DIS 5001 (SC12): ほうろう用冷延鋼板
DIS 5951 (SC12): 加工用高張力熱延板
DIS 10287 (SC16): 鉄筋用鋼-金網溶接継手部の強度の決定法
DIS 10544 (SC16): 鉄筋及び溶接金網用の冷間引抜線

2. TC17 (鉄鋼) 関係

- (1) 鉄鋼 ISO 運営委員会を開催し, 平成 2 年度事業報告及び決算案, 平成 3 年度事業計画及び予算案, TC17 総会予算案等の審議を行った。

- (2) TC17 内の各 SC のワードプロセッシングに関する調査

TC17 にてフロッピーディスクによる規格原案の送付を各 SC に対し奨励し, 既に 2~3 の SC は実施を始めているが, 欧州地区各 SC の実情を訪問調査した。その結果, 今回訪問した SC はすべて中央事務局とフロッピーディスクベースでの互換性がとれる形となっている (スタンバイ状態の機種も含めて) ことが判明した。

- (3) SC8 の幹事国インドの辞意表明に従い, 後任の幹事国を募る質問状を作成, P メンバーに送付した。

3. TC17/SC1 (化学成分分析) 関係

- (1) 今回出版された「ISO/TR 10281 (Mn-原子吸光法)」について

作業の安全性を重視した塩酸・硝酸分解法による原子吸光法であるが, 鉄鉄や鋳鉄などけい素含有率の高い試料には誤差が大きくなる可能性がある。高けい素含有率試料にも適した過塩素酸分解法による原子吸光法が現在規格化されつつあるため, 当方法は ISO 指針により技術報告 (第 2 種) として発行された。

- (2) 第 99 回 SC1 分科会・第 39 回 SC1 諮問部会における討議内容 (1990-12-5)

1) 分科会関連

- ① ISO-JIS 整合化のための SC1 分科会対応策
- ② WG22 (Mn-原子吸光法), WG25 (S-吸光光度法), WG29 (Co-原子吸光法), WG30 (Co-電位差滴定法), WG31 (Mo-吸光光度法) 等の国際共同実験用規格素案 (WD) に対する日本コメント

2) 諮問部会関連

- ① SC1 幹事ヨーロッパ出張報告
- ② TC102 (鉄鉱石分析) との Liaison について
- ③ 1990 年度実績報告・1991 年度事業計画等

4. TC67/SC5 (油井管) 関係

- (1) 日本が幹事国引受け後の最初の国際会議を, 1991 年 6 月 4 日 API の支援のもとに開催することになった。まず油井管 (ケーシング, チュービング, ドリルパイプ) の API 規格の ISO 化を考える。
- (2) 常任議長は日本から選出する。

5. 国内会議

- 11 月 29 日 第 2 回 TC17 総会実行委員会: 江本委員長, 以下 13 名
12 月 5 日 第 99 回 SC1 分科会・第 39 回 SC1 諮問部会: 佐伯部会長, 以下 12 名
12 月 6 日 第 24 回鉄鋼 ISO 運営委員会: 山本委員長, 以下 17 名

6. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

1) TC17/SC4 (特殊鋼)

1991 年 2 月 18~22 日, デュッセルドルフ

2) TC17/SC19/WG1 (鋼管の非破壊検査)

1991 年 2 月 20~22 日, ミラノ

☆☆☆☆☆☆☆☆

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着 PROCEEDINGS

下記資料の照会先: 鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

受入 No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
1099	Composite Materials-Design and Analysis	Brussels	90. 4. 25	Free Univ. of Brussels
1100	Electron Microscopy Vol. 1, 2, 4	Washington	90. 8. 12	Electron Microscopy Soc. of America
1101	Magnet Technology Vol. 1, 2 (MT-11)	Tsukuba	89. 8. 28	Inst. of Electrical Engineers of Japan
1102	Martensitic Transformations Pt. I, II	Sydney	89. 7. 3	Australian Nuclear Science and Technology Organization
1103	Effect of Iron and Silicon in Aluminium and its Alloys	Balatonfured	89. 5	Metal Physics Group of the Lorand Eotvos A. I. T. E.
1104	Interfinish 88 12th World Congress on Surface Finishing	Paris	88. 10. 4	Aluminum Association
1105	Aluminum-Lithium Alloys Vol. 1~3	Williamsburg	89. 6. 27	Japan Soc. of Applied Physics
1106	Advanced Materials- II	Osaka	90. 2. 5	Materials Research Society
1107	Chemical Vapor Deposition of Refractory Metals and Ceramics	Boston	89. 11. 29	ASM
1108	Diffusion Analysis & Applications	Chicago	88. 9. 25	TMS Physical Chemistry Comm.
1109	Physical Chemistry of Powder Metals Production and Processing	Pennsylvania	89. 10. 16	Molten Salts Discussion Group
1110	The Interaction of Molten Salts and Metals	York	86. 7. 2	Korean Inst. of Metals
1111	SRNC-90 Intl. Conf. on New Smelting Reduction and Near Net Shape Casting Technologies for Steel	Pohang	90. 10. 14	傾斜機能材料研究会
1112	FGM '90 Proc. of the First Intl. Symp. on Functionally Gradient Materials	Sendai	90. 10. 8	日本鉄鋼協会
1113	IISC The Sixth Intl. Iron and Steel Congress Vol. 1~5	Nagoya	90. 10. 21	Federation of European Materials Societies
1114	High Temperature Materials for Powder Engineering 1990 Part 1 & 2	Liege	90. 9. 24	Japan Soc. of Precision Engineering
1115	Shot Peening Proc. of the Fourth Intl. Conf. on Shot Peening	Tokyo	90. 10. 2	ICMC
1116	Advances in Cryogenic Materials Vol. 36A & 36B	Los Angeles	89. 7. 24	TMS Ferrous Metallurgy Committee
1117	Metallurgy of Vacuum-Degassed Steel Products	Indianapolis	89. 10. 3	Minerals, Metals and Materials Soc.
1118	Hydrogen Effects on Material Behaviour	Moran	89. 9. 12	日本熟物性学会
1119	Thermophysical Properties 11	Tokyo	90. 11. 6	Solid State Ionics Soc. of Japan
1120	Science of Composite Interfaces	Leesburg	89. 4. 18	日本結晶生長学会
1121	Solid State Ionics-89	Hakone/ Tsukuba	89. 11. 5	Inst. of Electrical and Electronics Engineers
1122	Crystal Growth Part 1 & 2	Sendai	89. 8. 22	
1123	1989 Digests of the InterMag Conference	Washington D. C.	89. 3. 28	